

情報共有

(2枚)

各位

福島支援定例レク (非管理Xモ)

NISA班殿 官邸殿
アレス対応TM.

東京電力株式会社

福島での本日のマスコミ対応について情報共有いたします。
(16時30分~)

以下、転送。

7/28 (木) 15時定例レク (本日は16時30分開始) 概要

【説明内容】

- ①福島第一原子力発電所プラント状況等のお知らせ
(7月28日 午前10時現在) 【資料配付】
- ②福島第一原子力発電所における東北地方太平洋沖地震の
観測記録を用いた地震応答解析結果に関する報告書等の
経済産業省原子力安全・保安院への提出について (その2)
【資料配付】
- ③福島第一原子力発電所3号機の高圧注水系動作時間における
原子炉圧力低下等のプラント挙動の要因について
【資料配付】
- ④福島第一原子力発電所1~4号機における使用済燃料プール
代替冷却浄化系の設置に係る経済産業省原子力安全・保安院
への報告内容の変更について 【資料配付】
- ⑤福島第一原子力発電所3号機原子炉建屋 炉注水筒所の現地調査
【資料配付】

※画像データ提供済

※一昨日のQuinceによる現場調査時動画データも併せて提供済

【主な質疑】

- Q. 地震応答解析結果の報告書について、報告書に対するNISA
の評価はいつ頃出るのか?
A. 当社としてはご回答できる立場にない。
- Q. 3u高圧注水系動作時間におけるプラント挙動については、
あくまでモデル解析に関する話なのか?
また、今回の公表に至った経緯は?
A. 今回の内容としては、5月23日にNISAへ報告した報告書
の中でお示ししていた、炉心圧力低下傾向の要因がHPCIの
配管からの蒸気のリークであることを示唆するような内容につ
いて、HPCIの運転や水位等を考慮して、実際のパラメータ
と整合性がとれる解析結果を、改めてお示ししている次第である。
- Q. プラントパラメータについては信頼性が乏しいように思えるが、
今回の解析は一つの結論として受け止めて良いのか?
A. 現場状況や操作状況、また設備設計という点から考えても、
HPCI配管が破断していることを示す材料は見あたらない。
今回の解析結果は基本的に一つの結論という位置づけである。
- Q. HPCIが運転していたならば、燃料が損傷するまでの時間は
もうすこし長かったのではないか?
A. HPCIの運転には蒸気や直流電源が必要であるが、設計上の
構造等を考慮しても、むしろ想定より長い時間運転することが
できたという印象を受けている。
- Q. HPCIの配管に破断がないということだが、3uは注水量も
多く、原子炉の温度も高いようだが?
A. 一概にその部分と結びつけることは出来ないと考えている。
- Q. 3UR/Bの現調について、遮へいボックスの線量が高いのは
なぜか?
A. 元々PCVとの貫通部であり、またボックスは金属製のため、
原子炉からの影響等で線量が高いように思われる。

- Q. 3u注水想定ラインについて、3階には何のラインの弁等があるのか？
- A. ホウ酸水注入系。
- Q. より効果的な冷却が可能なラインは3つのうちどのラインか？
- A. 一概には申し上げかねるが、炉心スプレイ系はシュラウドの内側に直接、スプレイするように注水することができるため、支持板の付近に燃料があるとしても、有効な冷却が可能ではないかと思う。
- Q. 例えば、ジェットポンプ計装配管と炉心スプレイ系の2つを用いて、2系統で同時に注水することは出来ないのか？
- A. 3uについては注水量の低下を考えているので、流量の関係から、難しいのではないかと思う。
- Q. 注水ラインが変わらなければ、注水流量は減らせないのか？
- A. 注水流量を減らすのは、原子炉を十分に冷却した後になるかと思う。
- Q. 遮へいボックス箇所で作業をする場合、どの程度の時間が必要なのか？
- A. 現状では線量が高いため、遮へい等の対策が必要である。注水ライン変更の可否も含めて今後検討していく。

以上

情報共有

福島支援室定時レク (非管理メモ)

(2枚)

官邸、NISA班 ← プラス対応チーム

各位

東京電力株式会社

福島での本日のマスコミ対応について情報共有いたします。
(20時~)

以下、転送。

=====
7/28 (木) 20時定例レク概要

【説明内容】

- ①福島第一原子力発電所プラント状況等のお知らせ
(7月28日 午後3時現在) 【資料配付】
- ②・福島第一原子力発電所敷地内における
空気中の放射性物質の核種分析の結果について (第百二十五報)
 - ・福島第一原子力発電所付近の
海水からの放射性物質の検出について (第百二十七報)
 - ・福島第一原子力発電所取水口付近で採取した
海水中に含まれる放射性物質の核種分析の結果について (7月27日採取分)
 - ・福島第一原子力発電所タービン建屋付近の
サブドレンからの放射性物質の検出について
 - ・集中廃棄物処理施設周辺 サブドレン水核種分析結果 【全て資料配付】
- ③4、5月の空気中放射性物質濃度による
放出量及び被ばく線量の概略評価について 【口頭説明】
- ④福島第一原子力発電所1号機および2号機における
原子炉格納容器内の機体のサンプリングについて 【口頭説明】
- ⑤プラント状況・本日の作業予定等について 【口頭説明】
 - <水位について (本日16:00現在)>
 - 1~4号機T/B地下階水位について
 - 1~3号機トレンチ立坑水位について
 - 1号機R/B地下階水位について
 - プロセス主建屋水位について
 - 雑固体廃棄物減容処理建屋水位について
 - <1号機>
 - ON2封入について
 - SFP代替冷却設備について
 - OR/Bカバー設置工事について
 - <2号機>
 - ON2封入について
 - プロセス主建屋へのたまり水移送について
 - ・明日、停止予定。
 - <3号機>
 - ON2封入について
 - プロセス主建屋へのたまり水移送について
 - ・明日、停止予定。
 - SFPへのヒドラジン注入について
 - ・明日、実施予定。
 - <4号機>
 - 原子炉ウェル・DSピットへの注水について
 - ・本日、14:33~18:50まで実施。
 - SFP底部支持構造物設置工事について
 - SFP代替冷却設備について
 - <6号機>
 - 仮設タンクへのたまり水移送について
 - ・本日、11:00~16:00に実施。
 - 仮設タンクからメガフロートへのたまり水移送について
 - ・本日、10:00~17:00に実施。
 - ・明日は、実施予定なし。
 - <その他>
 - 水処理装置について
 - ・本日、SMZ1塔交換。

- ・明日は、Hベッセル3塔交換予定。(フラッシングなし)
- ・高レベル汚染水の累積処理量は、本日10時時点で、約31,010トン。
- ・淡水化の累積処理量は、本日8時時点で、約10,410トン。
- サリーの作業状況について
- ガレキの撤去について
- 港湾関連施設の改修工事について

⑥国際原子力機関天野事務局長の当社への来訪について【資料配付】

⑦福島第一原子力発電所の状況【資料配付のみ】

【主な質疑】

- Q. PCV内の気体サンプリングについて、3uでは実施しないのか？
- A. 3uはN2の封入開始から日が浅いので、今後状態が安定してから実施することになると思う。
- Q. 測定結果については、放射性物質放出による環境への影響評価等にも用いるのか？
- A. まずはPCV内の状況の把握を目的に実施する。外部への影響評価等に用いることが出来るかどうかは、実施可否も含めて今後の話になるかと思う。
- Q. 水処理装置のベッセル交換について、明日もフラッシング未実施とのことだが、運用方法等は定まったのか？
- A. 厳密には定まっていないが、当初交換に数時間要していたものが、現在は1～2時間程度で実施できている。交換作業における被ばく線量等の観点も含めて検討中である。
- Q. 稼働率を上げるために、無理にフラッシングを実施せずに交換をするということではないのか？
- A. そういったことではない。
- Q. 2, 3uからプロセス主建屋へのたまり水移送については、明日停止予定とのことだが、いつまで停止する予定なのか？
- A. 停止は1～2日程度かと考えているが、各所の水位状況等を考慮して検討する。
- Q. 今回検出限界の値を下げたとのことだが、今回のサンプリングの値より小さい値が6月にも出ているが？
- A. 当時2Fで分析をしていた状況と、現在1Fで分析をしている状況とではバックグラウンドが異なるため、ND値にも違いがでている。

以上